

学校だより

# 花の心

～自分も大事 友だちも大事～

松本市立菅野小学校

令和3年11月24日号

松本市笹賀 3460 番地

電話 0263(58)2482

文責:井坪秀明

## 行事続々！

このところ、不思議なくらいコロナの状況が落ち着いており、学校や学年の行事も、昨年のように軒並み中止、ということもなく、順調に行えています。普通と言えば普通ですが、その普通なことできなかったこの2年あまりでしたから、本当にありがたく感じてしまいます。そして、改めて行事を通して思うことは、どの行事も大切に、経験することで子ども達はぐんと成長するということです。まだまだ第6波の心配はなくなりません。普段の生活が普通に送れる、行事が保護者や地域の皆様に見守られてできる、そんな以前の状況に一日も早く戻りたい！そう感じるこの頃です。

## ～ 音楽会 ～

学校行事は、刻々と変わるコロナの状況を見ながら、よくなったからさあやろう！というわけにはいかないのが現状です。音楽会や運動会など、準備に時間が必要な行事はなおさらです。今年は、なんとか開催することを大事にし、当初から歌なしでの実施を決めていました。合奏の練習は1学期のわりと早い時期から始めていましたが、感染拡大による延期で11月の開催となりました。歌のない寂しさはありましたが、それでも学校に音楽が響く幸せを感じた今年の音楽会でした。子ども達もリズムに合わせて体を動かしたり、笑顔で演奏したりしている様子が見られ、久しぶりの音楽会を楽しんでいるのが伝わってきました。不安が大きい世の中だからこそ、音楽がもつ力か私たちには余計に必要なのかもしれませんね。

コロナ禍においては、レベルが上がると歌は歌えない、リコーダーや鍵盤ハーモニカは吹けないといった中で音楽の授業を行わなくてはならず、担当している音楽専科も、子ども達にどのように音楽に触れさせたり、親しませたりしたらよいかと悩んでいましたが、電池で駆動するキーボードを購入して（PTAにご協力をいただきました）鍵盤ハーモニカの代わりにしたり、リコーダーの吹口にチューブをつけてマスク越しでも吹けるようにしたりといった工夫を考えてくれ、ここまで何とか乗り切ってきています。そんな中での音楽会でした。

保護者の皆様には、限られた部分の参観や健康観察、靴カバーなどいろいろとお手間をおかけしました。子ども達も、保護者の皆様に聞いていただけてほんとうにうれしかったと思います。ありがとうございました。

## ～ マラソン大会 ～

こちらも2年ぶりの開催でした。今年はスカイパークが使えず学校の敷地内での実施となりましたが、多くの保護者の皆様に応援をいただきながら、広葉樹が色づく中、子ども達は力走を見せてくれました。走力はみんな違いますが、自分の“全力”を出し、苦しい表情を見せながらも必死に走る姿は、どの子もほんとうにキラキラしていて感動するものでした。私はどちらかといえば運動は得意ではなく、小学生・中学生の時のマラソン大会ははっきり言って乗り気ではありませんでした。当然、後ろから数えた方が早い順位の常連でしたが、それでも走り切った時、苦しさと共に感じた気持ちよさというのは今でも忘れません。それは、純粋に汗をかいて体を動かしたことの気持ちよさだったのかもしれませんし、苦しいながらもなんとか乗り切った安心感や、苦手なことをやりきった達成感だったのかもしれません。そんな気持ちよさも感じてくれていたらいいなあと思いながら、私も拍手や声援をおくりました。

学校として、朝マラソンに取り組み始めて3年目になりました。これから寒い冬を迎えますが、体力づくりの一環として体育科を中心にこれからも取り組んでいきたいと思っております。